

平成 30 年度 第 1 回 仙台市泉区区民協働まちづくり事業評価委員会議事要旨

日時：平成 30 年 5 月 18 日(金)

場所：泉区役所本庁舎 5 階 512 会議室

出席者

・評価委員

岩動志乃夫委員長、佐瀬充洋委員、田中秀夫委員

・事務局

泉区まちづくり推進課

1 開会

2 委員紹介

3 議事

平成 29 年度企画事業 事後評価

○各事業内容報告

○質疑応答・意見等

① ニューススポーツフェスティバル

委員 ペタンク交流大会の参加チーム数が減ったとのことだが、どのくらい減ったのか。

説明者 例年は 16 チームが参加していた。今回は台風の影響で当日の早朝に開催の可否を判断したが、連絡が行き届かず 12 チームのみの参加となった。

委員 ペタンク交流大会の参加者が 12 チーム 46 名とのことだが、どのような年齢構成か。

説明者 ほとんどが 60 歳以上。今回一番多く参加した松陵地区では 40 代の方もいたが、おおむね 60 歳以上。

委員 ニューススポーツフェスティバルの支出の具体的な内訳を教えてほしい。

説明者 ほとんどが新しい道具の購入と修理、またお子さんの参加賞として 400 個ほどお菓子のセットを用意した。

② 泉区民文化祭

委員 目的に「文化の向上発展に寄与する」とあるが、ここでいう「文化」とは具体的に何を指すのか。

説明者 根白石のあわせ踊りや茶道など、様々な伝統文化を子供たちに伝えていきたいと考えている。

委員 新たな試みとして、プロジェクションマッピングを行ったとのことだが、どのようなものだったのか。

説明者 東北生活文化大学の学生の企画で、日没後に会場の外で 17 時と 18 時の 2 回上映したところ、帰宅途中の方なども足を止めてくれて、各回 50 名ほどが観てくれていた。新しい試みとしては大変良かったと思う。

委員 お茶席の運営に学生が参加し、来場者から好評を博したとあるが、学生とは事前に

打合せを行ったのか。

説明者 文化協会と学生、泉区役所職員と会場（イズミティ 21）の職員とも打合せを行った。

委員 では、周到な準備をされたということですね。

説明者 はい。

③ 将監沼ふれあい事業

委員 地域のお祭りではどのくらい募金が集まるのか。

説明者 協賛金という形で、地域の商店等にお手紙を出して 20 万円以上は集まる。抽選会の景品等も提供してもらう等、お祭りの経費は協賛金で賄うことができている。

委員 収入の内訳としては、区からの助成金と協賛金の他にはどのようなものがあるか。

説明者 主な収入は会費だが、年々減ってきているので、あらためて町内会に働きかけていきたい。

④ いずみ朝市

委員 若い方がなかなか参加できないとのことですが、出店者に関して募集をかけたりしているのか。

説明者 若い農家さんの絶対数が少ない、年間通してコンスタントに出店できるほどの収穫がない、月 2 回の朝市では出品のタイミングが合わないなど、難しい状況である。

委員 出店者は今何人くらいですか。

説明者 15 件である。

⑤ いずみのふるさと学事業

委員 探訪会の参加人数が 6 月は 46 名、10 月は 24 名と倍近い差があるが何か理由があるのか。

説明者 それぞれ 40 名を市政だよりで募集したところ、10 月は応募者数が少なかったため。10 月は徒歩での探訪だったことも影響しているかもしれない。

委員 昨年より事業費が増えているのは冊子の増刷が理由か。

説明者 そうです。

委員 主な配布先はどこになるのか。

説明者 町内会や市民センター、老人会で歴史の勉強をされている方や、定年後に郷土史に興味を持たれた方などが窓口にいらっしゃる。

委員 無償での配布なのか。

説明者 29 年度までは無償で配布していたが、30 年度からは有償としている。

⑥ 泉中央美化推進事業

委員 緑化運動はとても良い活動だと思うが、どのような方々が参加されているのか。

説明者 七北田川堤防の花植えについては、以前はガールスカウトと泉青年会議所がメインだったが、現在は実行委員が所属する団体からも多くの方に参加していただいている。また、ベガルタロードの花植えについては、ベガルタ仙台やベガルタ仙台市民後援会、七北田小学校子ども会育成会に手伝っていただいている。また、すいせん通りの花植えについては、七北田小学校 6 年生の皆さんが授業の一環で手伝ってくれている。

⑦ 区民意識普及啓発活動

委員 助成金額が 10 万円増額されている理由は何か。

説明者 区民デーで実施する大抽選会の景品としてベガルタグッズを購入した他、ふるさとまつりに出展した際の資材や消耗品の購入に使用した。

⑧ 七北田川クリーン

委員 参加をとりやめる町内会もあったとのことだが、前年比でどのくらい減ったのか。

説明者 参加人数の減少について、今年度はクリーン運動の前日に予定していた運動会が雨の影響で順延になったために、参加を予定していた小学生や保護者、町内会役員のみなさんが参加できなくなったことが原因として挙げられる。それ以外では、老人クラブが会員減少や活動縮小によって参加を取りやめる団体が毎年いくつかある。

委員 事業費がかなり減っているが理由は何かあるのか。

説明者 平成 26 年度から宮城テレビさんが共催してくださるようになり、鮎を提供していただいている。また、必要物品も大分充実してきており、事業費を削減しても開催できるようになった。

⑨ 泉ヶ岳悠・遊フェスティバル事業

委員 渋滞が発生したとのことだが、例年そうなのか。

説明者 例年、駐車場に入りきれない状況が続いている。年々参加者が増えてきており、昨年は渋滞が伸びてしまった。

委員 リフトの無料運行が好評だったとのこと、体験型のイベントにしていきたいのはとても良い内容だと思うが、5 時間の運行で何か問題などはあったか。

説明者 運行時間の 5 時間を終了する直前に多くの方が並んでしまったということが課題としてありました。今度無料運行をする際には、上の駅にスタッフを配置して、案内ができるようにしていきたいと考えている。

⑩ 泉区民ふるさとまつり

委員 大学のボランティアサークルからスタッフとして協力したいという申し出があったとのことだが、何か特別な要素があったということなのか。

説明者 昨年につきましては一昨年と比べまして 20 名ほど増えている。具体的には東北学院大学のサークルにお願いをして、事前に打合せを重ねた結果、先方のご厚意で一昨年来上回る参加をいただき、大変助かった。

委員 20 名増えたということですが、もともとはどのくらいの人数だったのか。

説明者 一昨年は 7～8 名、昨年は 26 名ご参加を頂いた。

委員 人件費や資材価格の高騰、あるいはマンパワー不足もそうだが、企業への協賛金の呼びかけなど、その辺の体制はどうなっているのか。

説明者 協賛金は、花火の協賛金という形と、企業の広告を載せたうちの協賛と二本立てにしており、商工会の会員や、これまで協賛いただいている企業にお声かけをする他、泉中央近辺のこれまで協賛をいただいていない企業を訪問して協賛を募っているという状況である。

委員 その効果はどうですか。

説明者 正直、新規の協賛は得られていない状況であり、現状維持が精いっぱいという状況です。

委員 市内には東京資本の仙台支社も多くあり、そういった企業は仙台ならではの七夕祭りやふるさとまつりに積極的に協力してくれると思うので仙台に新規参入してきた企業に協賛を求めるのがよい手法だと考える。

説明者 はい、ありがとうございます。

⑪ 泉ヶ岳利活用推進事業

委員 特別事業費というのは具体的にはどのようなものか。

説明者 現在、泉ヶ岳の芳の平の植樹地整備ということで、公園を作ろうとしている。整備の一環として、一般の方が植樹地に来られた時に駐車するスペースがあまりなかったので駐車場をつくった。併せて必要な看板等も作り、その経費ということになる。

説明者② 特別事業費は、ブルデンシャル生命から基金ということで 200 万円ほどいただいている。これは、毎年いただくものではなく、芳の平の整備、今回の駐車場整備など、遊歩道の整備等に限定して使っているもので別枠で管理しているものなので、特別事業費としている。

委員 登山と自然観察会、それぞれ何人ほど参加しているのか。

説明者 5 月に夏季自然観察会、7 月に初心者向け登山、10 月に秋の自然観察会があり、それぞれ募集は 20 人。応募者はいつも 40～50 名になるので、抽選になりました。募集定員の 1～2 割増しで実施しています。冬の自然観察会については泉ヶ

岳ふれあい館近くの平場と、ちょっとした山を、スノーシューを履いて歩くもので人気企画のため、30名から40名近くの参加者で実施している。

⑫ 青少年健全育成事業

委員 地球のステージの支出の内訳を教えてください。

説明者 演者への出演料と交通費が主である。

委員 費用対効果が低いという意見があるとのことだが、どういった理由か。

説明者 一部の方にそういった意見をいただいたが、他の講演では代替不可能であり、当該NPOあつての企画と考えている。

⑬ 地域子育て交流会

委員 新しいチャレンジとは何をやられたのでしょうか。

説明者 所属団体からの参加者は毎年変わるため、「子育て応援くらぶ いずみん」がどんな団体なのか知らずにやってこられる方がおおい。参加者である先生たちが、報告書だけではなくて自分たちで感じて「いずみん」自体がどんなことをするのかということを知ってもらふ企画をいくつか考えた。団体が50もあるとお互いの活動を一気に見るということができないので、お互いの活動の内容や雰囲気を知ることができてすごく良かったというのがあります。

⑭ 泉中央地区活性化推進事業

委員 いず・ちゅう祭の来場者数が14,000人とありますが、推移としては増えているのか、それとも横ばいなのか。

説明者 来場者数につきましては、当日のベガルタ仙台さんのホームゲームの来場者数を提供してしまして、イベント自体に留まって見ていただいた方の数ではないので、イベントを目的に来場して下さったという効果の把握まではできていない状況である。ベガルタ仙台さんのホームゲームの入場者数としては横ばいという状況である。

委員 委託料170万円の内訳はどういったものか。

説明者 支出の内訳としましては、会場の設置運営に係る費用の他、演者への出演料となっている。

⑮ ①大学連携地域づくり助成事業（加茂まちづくり協議会）

委員 大学との連携ということだが、具体的にはどこかのゼミとの連携か。

説明者 東北学院大学地域構想学科ますこ先生ゼミの学生さんのお力をお借りして高齢者向け健康づくりに取り組んだもの。

委員 何人くらいの大学生が関わりをもったのか。

説明者 10 名くらい。

②大学連携地域づくり事業

委員 泉 6 大学まちづくりフェスティバルの開催場所は。

説明者 平成 30 年 2 月 12 日の振替休日の日に泉区中央市民センターで開催。

4 その他

5 閉会